

第 5 号様式（第 6 条関係）

北の台中学校 学校運営協議会会議録

会 議 の 名 称	第 4 回 北の台中学校 学校運営協議会		
開 催 日	令和 7 年 1 月 3 1 日（金）		
開 催 時 間	1 6 時 0 0 分 ～ 1 7 時 0 0 分		
開 催 場 所	北の台中学校 図書室		
議 長	教頭		
出 席 者	会長、コーディネーター、学校運営協議会委員（2 名） 校長、教頭、総括教諭（5 名）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	なし
会 議 の 内 容			
【議題】 1. 開会 2. 校長挨拶 3. 議事 ○ 具体的な取り組みについて 4. その他 ○ 第 5 回学校運営協議会について 5. 閉会			
【主な意見・決定事項など】 3. 議事 ○ 総合的な学習の時間「地域」の発表について ・ それぞれのグループで、中学生ならではの視点で考えていることや、実際の活動やアンケート結果から深く思考していること、実際に取り組んだからこそ気づいたことなどが見られ面白かった。例えば、運動会の種目について考えたグループでは「たくさん考えた中から、採用がひとつだったということに難しさを感じた」という意見があり、「道具や場所、参加する方の年齢などに応じて考えなくてはならない」と考えていた。中学校の中でのイベントは「中学生へ向けた、中学校の資源を使った活動」であるが、地域に出ることで「色々な年齢層の方」や「地域の資源」ということに着目できていて面白いと感じた。			

- ・ 中学生から自治会への提案書を受け取った。中学生だからこそその率直な意見、中学生だからこそ気づくことのできる視点もあるのではないかと思う。

○ 具体的な取り組みについて

➤ ニュースポーツ大会

- ・ 第1回、地域の方に学校に足を運んでもらうことができ、「これから学校と地域で何かやっていくんだな」という気持ちになってもらえた。
- ・ 第2回、地域の方が学校の生徒さんの元気な姿を見ることができてよかった。
- ・ 今後継続していければ、体を動かして楽しむ中で、学校に対して「地域で応援できることをやろう」ということや、中学生が地域に出ていくという「地域とのつながり」の雰囲気づくりができると感じる。
- ・ 地域の方も色々な方や、新しい方を呼べるとよい。

➤ 総合的な学習の時間

- ・ まずは継続していくこと。しかし、継続していくことの難しさもある。
- ・ 「勉強したものを地域に戻す」という視点。勉強したことを役立てることができたという実感。学ぶことの意義にもつながっていく。
- ・ 「地域で良い思いをした」という実感を持って、生徒たちが大人になっていけるとよい。ウェルビーイング。

➤ その他

- ・ 地域の団体から「要望があれば協力します」という提案を頂いた。
- ・ 「学校と地域で色々なことに取り組んでいく」というコミスクのスタンスが、じわじわと地域に伝わってきていると感じる。
- ・ 地域の「こんなことができます」という提案や地域のニーズを拾い上げる取り組みがあってもよい。できれば中学生もいる場で、できるとよいのではないか。カフェ形式などどうか。
- ・ 「地域のニーズ」と「学校の教育的価値」が重なる部分がコミスクとして取り組みやすいのかもしれない。

- ・ 自治会の側にもコミスクの窓口のような方が居てくださるとありがたい。
- ・ 2年生の総合的な学習の時間のテーマが「地域」であるため、今年度は2年生が主に地域と関わっていたが、他の学年も関わるタイミングが作れるとよいのではないかな。
- ・ 防災について、地域で行っているマンホールトイレや簡易ベッドの組み立て方の講習会を、防災訓練などの際に行ってもらってはどうか。

【配付資料】

次回開催予定

第5回 日程未定